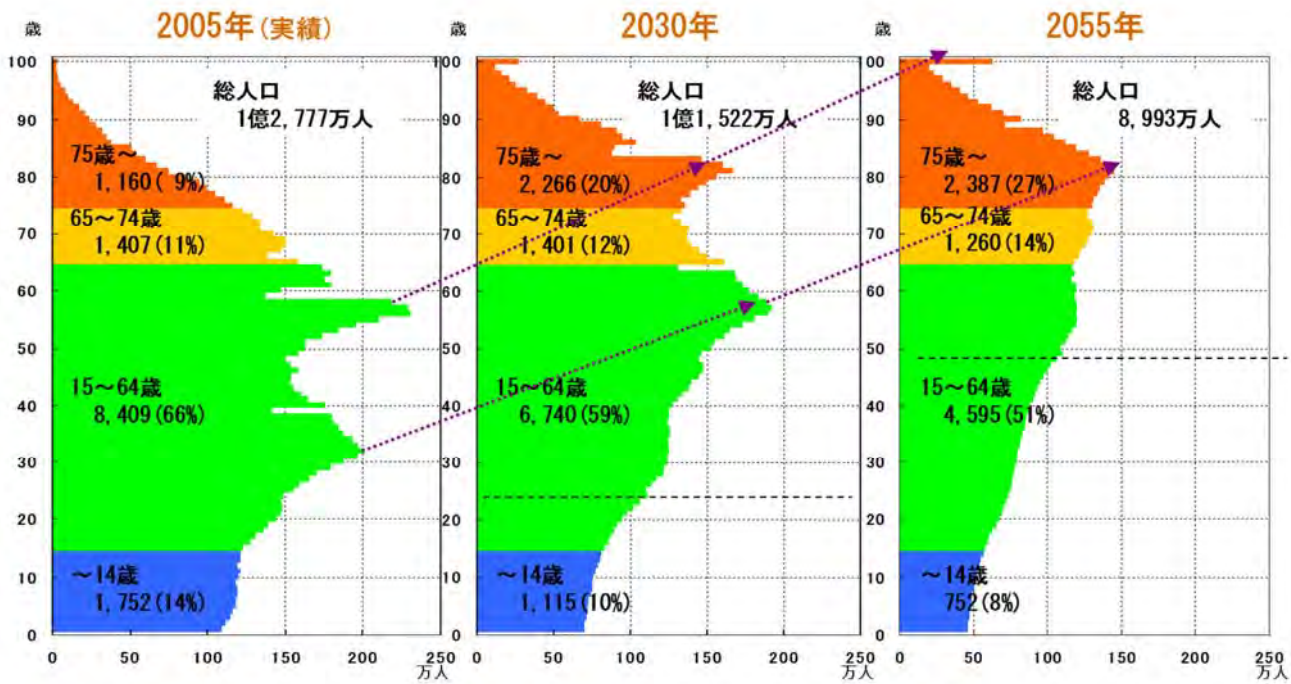


社会構造の大変換

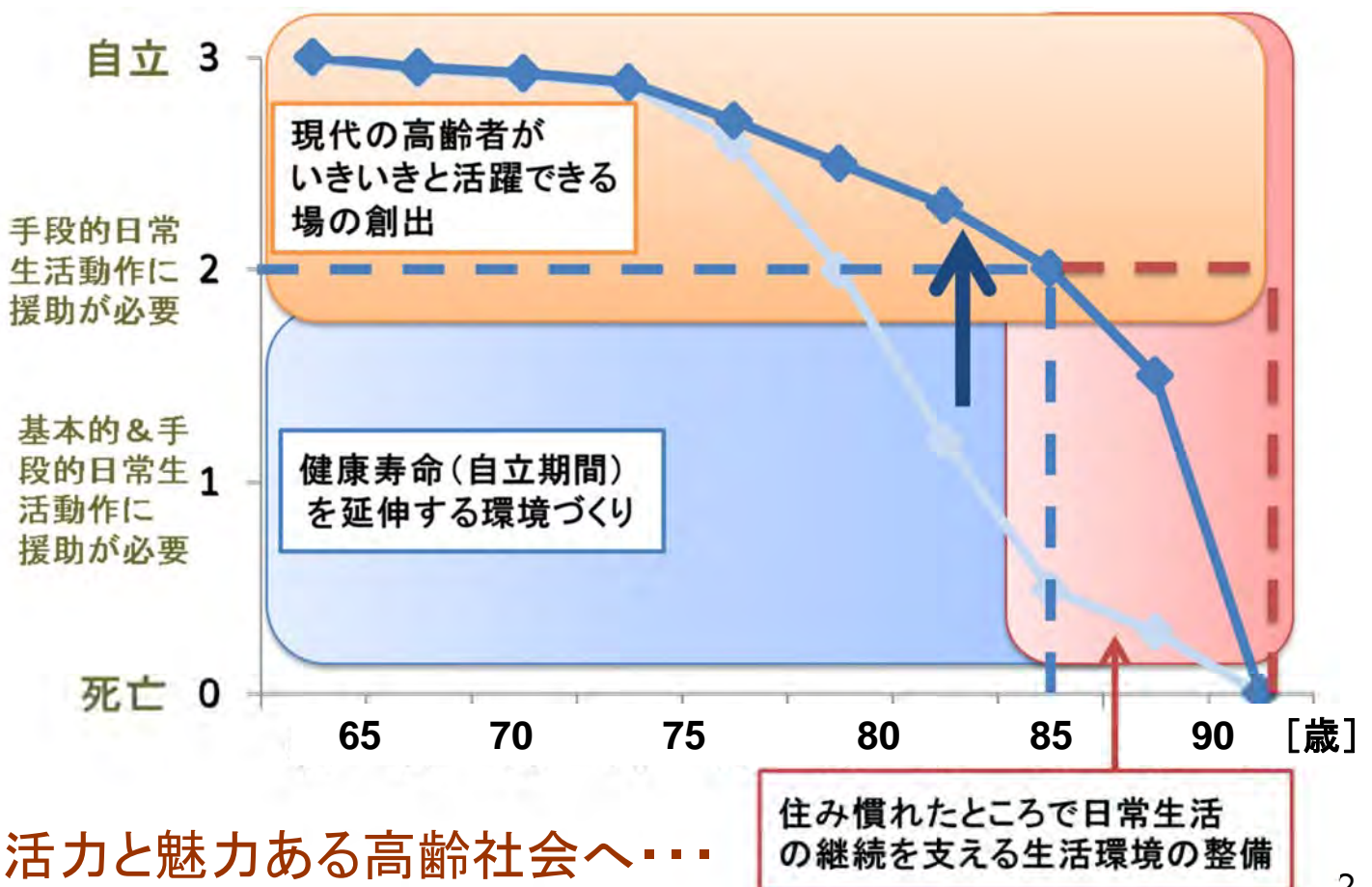


-平成18年度中位推計- 注:2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

- 高齢者の高齢化
- 地域密着人口の高齢化
- 顕著な都市部の高齢化
- 認知症高齢者、高齢者単身世帯の増加
- 元気な高齢者の増加

相互に関連する複雑な課題の様相 1

長寿時代に求められるコミュニティの要件



現代の高齢者がいきいきと 活躍できる場の創出

就労から、社会貢献、社会参加まで、幅広い
活躍の選択肢がある社会



セカンドライフの
新しい働き方として、
学童保育



らくらく農法で
高齢でも
楽に楽しく営農



高齢者、企業、研究者が
集い、使いやすさを考え
る みんなラボ

写真は各種報告書等より引用

健康寿命（自立期間）を延伸する 環境づくり

コミュニティに出て、人とのふれあいの中で、
主体的な健康づくりを促すことのできる社会



フレイル予防の一環として、
“食”をテーマに、
まちの人が集い、
食卓を囲む「食」コミ会議



地域の高齢者も
認知症予防スタッフとして
携わる、共助による
認知症予防の取り組み



歩行補助車を活用しながら、
出かけたいイベントを
地域で考え、仕掛ける
歩きたいまちづくり

住み慣れたところで日常生活の 継続を支える生活環境の整備

住み慣れた地域で、心身的に弱っていても、
安心して暮らせる環境が整った社会



地域住民が主体的な役割
を持って関わる生活支援
型コミュニティ
(大学生のチャリパト隊)



原発事故で離れて暮らす町
民を移動でつなぎながら、
生活支援に取り組む
新ぐるりんこの取り組み



認知症の意思決定支援に
向けて、地域の医療・福祉
関係者のミーティング

【高齢社会課題解決型のセンター構想】

社会の
ニーズ

【地域】各地域特有の課題



【企業】各業界・企業特有の課題



【その他】住民・NPO・諸団体の課題

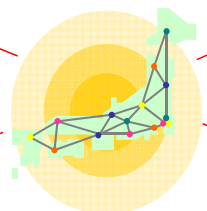


目指す拠点イメージ

超高齢未来のための課題解決型
アクション支援拠点
～長寿を喜べる生きがい創出と
持続的な社会システムづくりを推進～

コミュニティの

高齢化課題解決に向けた
センター



高齢化課題解決に資する情報・知財を集約
社会のニーズに応える最適な解決策の提示等

主なミッション

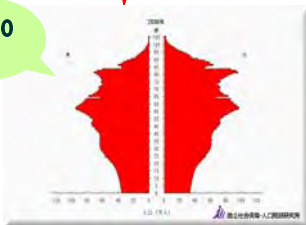
- I. まちづくりアーカイブ作成
- II. 現場への啓発・情報提供・支援
- III. 科学的エビデンスに基づく政策・施策提言
- IV. 国際的拠点形成
- V. 産学官民協働のリビングラボ等

<センターが有する知財パッケージ(例)>

- 高齢者の就労・社会貢献
- 高齢者の社会参加推進策
- 高齢者生活支援策
- 高齢者の移動問題解決策
- 健康長寿・虚弱化予防策
- 地域包括ケア推進策
- 認知症ケア・予防策
- ENJOY・快適生活支援策

ソーシャル
イノベーション
エンジン

2030
年



～笑顔溢れる未来社会づくりへ～



Aging in place / Age Friendly Society

理論と実践を両輪として課題解決を共創する拠点

■「一般社団法人 高齢社会共創センター」の立ち上げ

- ・ 活力と魅力ある高齢社会の実現に向けた共創活動を推進
- ・ コミュニティとの継続的な連携

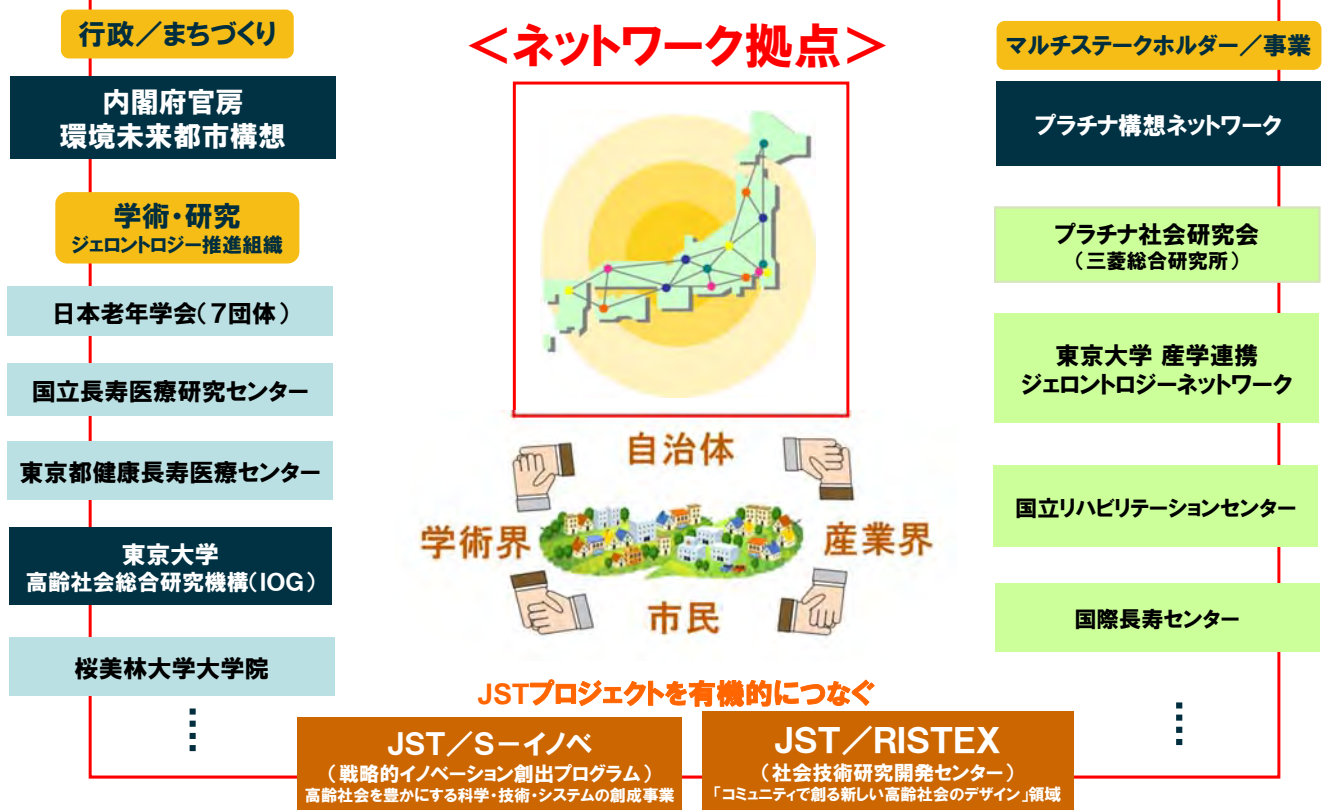
【活動内容】

- 1) 学際的・職際的な視点に基づく知識の体系化、および政策、アジェンダの提言(社会技術・ノウハウ、協働手法等)
- 2) 体系化した知見と協働を学び合う研修事業とネットワーク化
- 3) オンライン上での情報共有・意見交換を促す交流プラットフォーム
- 4) リビングラボ(生活者視点の産官学民協働)



高齢社会課題解決型の共創拠点

＜コミュニティの高齢化課題解決に向けた活動・組織と連携する＞



※下記の組織等は例示したもの。現時点で何らかの提携等の取り交わしは行っていない